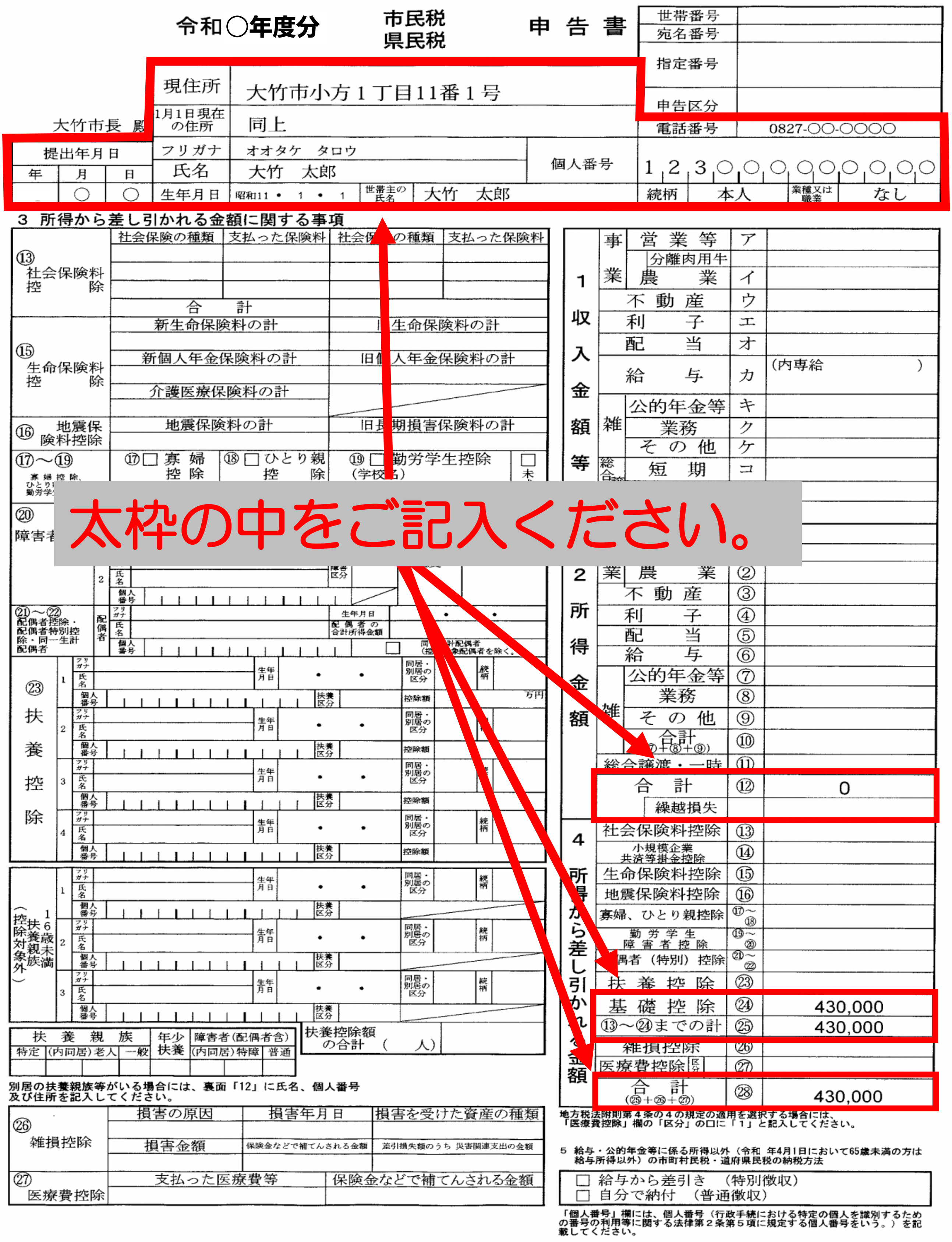
<記入例>

前年中に収入がなかった方、遺族年金・障害年金などの非課税所得のみの方



令和○年度分　市民税 県民税　申告書

世帯番号	
宛名番号	
指定番号	
申告区分	
電話番号	0827-○○-○○○○

大竹市長　殿

現住所	大竹市小方１丁目11番１号		
1月1日現在の住所	同上		
フリガナ	オオタケ　タロウ	個人番号	1 2 3 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
氏名	大竹　太郎		
生年月日	昭和11・1・1	世帯主の氏名	大竹　太郎
続柄	本人	業種又は職業	なし

提出年月日		
年	月	日
	○	○

3　所得から差し引かれる金額に関する事項

太枠の中をご記入ください。

1　収入金額等

事業　営業等	ア	
事業　分離肉用牛　農業	イ	
不動産	ウ	
利子	エ	
配当	オ	
給与	カ	（内専給　　）
雑　公的年金等	キ	
雑　業務	ク	
雑　その他	ケ	
総合譲渡　短期	コ	

2　所得金額

事業　農業	②	
不動産	③	
利子	④	
配当	⑤	
給与	⑥	
雑　公的年金等	⑦	
雑　業務	⑧	
雑　その他	⑨	
雑　計（⑦＋⑧＋⑨）	⑩	
総合譲渡・一時	⑪	
合計	⑫	0
繰越損失		

4　所得から差し引かれる金額

社会保険料控除	⑬	
小規模企業共済等掛金控除	⑭	
生命保険料控除	⑮	
地震保険料控除	⑯	
寡婦、ひとり親控除	⑰～⑱	
勤労学生障害者控除	⑲～⑳	
配偶者（特別）控除	㉑～㉒	
扶養控除	㉓	
基礎控除	㉔	430,000
⑬～㉔までの計	㉕	430,000
雑損控除	㉖	
医療費控除　区分	㉗	
合計（㉕＋㉖＋㉗）	㉘	430,000

地方税法附則第４条の４の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の□に「１」と記入してください。

５　給与・公的年金等に係る所得以外（令和　年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外）の市町村民税・道府県民税の納税方法

□ 給与から差引き　（特別徴収）
□ 自分で納付　（普通徴収）

「個人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第２条第５項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

⑬ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料	社会保険の種類	支払った保険料
	合計			
⑮ 生命保険料控除	新生命保険料の計		旧生命保険料の計	
	新個人年金保険料の計		旧個人年金保険料の計	
	介護医療保険料の計			
⑯ 地震保険料控除	地震保険料の計		旧長期損害保険料の計	
⑰～⑲	⑰□ 寡婦控除	⑱□ ひとり親控除	⑲□ 勤労学生控除（学校名）	
⑳ 障害者				
㉑～㉒ 配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者	フリガナ 氏名 個人番号	生年月日	配偶者の合計所得金額	同一生計配偶者（控除対象配偶者を除く）

㉓ 扶養控除	フリガナ 氏名	個人番号	生年月日	同居・別居の区分	続柄	扶養区分	控除額
1			・　・				
2			・　・				
3			・　・				
4			・　・				

16歳未満扶養親族（控除対象外）	フリガナ 氏名	個人番号	生年月日	同居・別居の区分	続柄	扶養区分
1			・　・			
2			・　・			
3			・　・			

扶養親族			年少扶養	障害者（配偶者含）			扶養控除額の合計
特定	（内同居）老人	一般		（内同居）特障	普通		（　人）万円

別居の扶養親族等がいる場合には、裏面「12」に氏名、個人番号及び住所を記入してください。

㉖ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類
	損害金額	保険金などで補てんされる金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額

㉗ 医療費控除	支払った医療費等	保険金などで補てんされる金額